

別紙（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	第4回和泉市生涯学習推進プラン・和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会
開催日時	令和5年1月27日（金曜日）14時から14時45分まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	金谷 忠男 委員、坂東 剛 委員、門林 淳 委員、駒澤 重信 委員、 吉岡 隼平 委員、小前 恭則 委員、鈴木 雄太 委員（名簿順）
欠席者	澤村 直幸 委員、恵山 文孝 委員、野口 祥子 委員、上西 恵子 委員、 千葉 昌一 委員、門林 弘季 委員、竹内 靖子 委員（名簿順）
傍聴者	なし
会議の次第	1. 議案 （1）パブリックコメント結果報告 （2）計画原案の確認 2. その他
会議の要旨	和泉市生涯学習推進プラン及び和泉市スポーツ推進基本計画の策定に係る調査審議に 関すること。
会議録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の 確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
備 考	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(司会進行：事務局)

- ・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっていること及び傍聴者を報告

会議資料の確認

- ・事務局より出席委員数の確認

委員総数14名のうち、出席者7名、欠席者7名となっており、和泉市生涯学習推進プラン・和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会規則第6条の規定に基づき、本会議は成立していることを報告

(司会進行：鈴木委員長)

1. 議案

(1) パブリックコメント結果報告

事務局説明

第3回策定委員会でお伝えしたとおり、令和4年12月9日から令和5年1月10日の期間でパブリックコメントを実施し、個人3名、団体2団体より15件のご意見・ご提案をいただいた。

- ・（仮称）和泉市生涯学習・スポーツ推進計画（素案）パブリックコメント 募集結果概要（案）を元にご意見・ご提案の概要及び市の考え方（案）を説明

委員長：事務局から報告があったことについて、意見・質問はないか。

委員：計画内に社会教育士の記載がないことに対する意見に対し、計画に社会教育士についての記載を行うかについて回答する必要があるのではないか。

事務局：社会教育士については、文部科学省で定めている称号であり、取得に際しての推薦等を行っているが、市として独自に推進するものではないことから、計画に記載する必要はないと考えている。市の考えにその旨を追記する。

委員：スポーツ施設について、指定管理者制度に感じている限界とはなにか。

事務局：指定管理者は期間が5年と定められていることによる長期的な運営についての意見である。

委員：指定管理者制度に関連して、指定管理者を挟むことで市民の意見が市に届いていないように感じる。指定管理者、市民との意思疎通に気をつけてほしい。

委員：パブリックコメントの意見・提案について、他の計画と比べて15件というのは少ないものなのか

事務局：本市ホームページで公開されている令和2年度から令和4年度のパブリックコメント件数は、0件から2件であり、本計画については、多くの意見をいただいたと感じている。

(2) 計画原案の確認

事務局説明

変更箇所として、市長挨拶の追加、施設利用者アンケートの結果を反映、図書館コンクール結果展示及び信太山クロスカントリー大会の写真を今年度のものに変更、パブリックコメントの結果を受け桃山学院大学を正式名称で記載、推進体制を明確にすることを目的に教育委員会を生涯学習推進本部と明記、計画の進捗管理を行うための目標指標の目標値を記載した。また、概要版についても4ページに渡って作成している。

委員：和泉市子どもの読書活動推進計画について、統合予定となっているが、こういったつながりを想定しているか。

事務局：第3次和泉市子どもの読書活動推進計画は、平成31年度からの5年計画になり、令和5年度末までが計画期間となっている。そのため、令和5年度については、本計画と並行して進行管理を行い、令和6年度からは一括しての進行管理を考えている。

委員：図書館については、新型コロナウイルスの影響もあり、在宅サービス等貸出以外のサービスも進展している。目標値について、そういった利用形態の変化を踏まえて検討したことはあるか。

事務局：本市では、電子図書館サービスの利用を開始している。電子図書の充実等サービスの拡充を図っていく。

委員：目標指標の「子どもの市立図書館利用者率」について、子どもとは何歳までのことか。また、利用者とは来館者ということか。

事務局：18歳までの子どものうち、実際に市立図書館に来館し、本を借りた子どもを対象としております。

委員：確認になるが、子どもの不読者率とは、本を読まない人の割合のため、目標としては数値が下がることが望ましい。

事務局：適切な表現に変更する。

委員：読書活動の推進にかかる目標指標、進捗管理指標について、現状値は10年前、20年前と比べてどうなっているのか。

事務局：ゲームやインターネットといった読書以外のツールの利用者が世代を問わず増えており、全体的に下がっている状況である。

委員長：いただいた意見を踏まえ、本計画原案を教育委員会へ答申としてよろしいか。

- ・異議なしのため、本計画原案を教育委員会への答申と決定

2. その他

委員長：事務局から報告事項などないか。なければ、これをもって、本日の和泉市生涯学習・スポーツ推進計画策定委員会を終了する。